

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 弘仁会	代表者	清水千枝	法人・ 事業所 の特徴	介護が必要になっても自宅に住み、家族や親しい人々と不安のない生活を送りたいという方々の願いを支えていきます。24時間、365日の暮らしを切れ目なく支え、日中の通い、一時的な宿泊、緊急時や夜間の訪問等のサービスを必要に応じて、同じスタッフが対応させて頂いています。
事業所名	小規模多機能 かりんの花	管理者	今村裕右		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	人	人	人	人	人	3人	1人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	地域活動・イベントの再開。会議等に参加する。	コロナ禍が緩和され地域への行事参加ができました。 法人内への外部企画は中止	地域の祭りに参加して頂いた。 今後施設内への企画が緩和されるのであれば、地域のボランティア活動されている方がいるので企画をしてみてもいいのでは	地域との関係をつなぐために、地域活動・イベントの企画をする。
B. 事業所のしつらえ・環境	現状の体制がまだ続くと思われる為、外部に向けた発信方法を検討する。	施設への出入りが少しずつ緩和されたが、必要最低限にとどまった。 清掃はいつもされていて汚れ等は見られない。 職員もいつも挨拶して下さっている。	施設に出入りは出来たが、必要最低限での出入りだった為、様子が見えづらかった。 見学会等があれば、地域の方たちも来るきっかけが出来るのではないかと。	施設訪問が緩和され、開放的な施設運営にする為の取組みや、外部に向けた発信を検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	職員・利用者様と共に感染対策に厳重に注意し地域活動に参加する。	感染対策を厳重に行ってきたが、コロナ感染者が利用者・職員で蔓延してしまった。	感染対策はされている為、コロナの感染者は防ぎようがない。	職員・利用者様と共に感染対策に厳重に注意し地域活動に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域で困っている方の相談をかりんのみで解決しないで、包括と情報共有を密にする。	今年度は包括との情報共有を道に行った結果、多くの地域の方々への支援につながった。	包括からの相談、または事業所から包括への案内をさせて頂いた。	地域で困っている方の相談をかりんのみで解決しないで、包括と情報共有を密にする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進委員会や施設での取り組みを知る為に職員の参加を実地する。	事業所の活動報告等、状況を説明に行った。 現場職員の参加が少なかった。	現場の声が伝えられているが、直接話せるように努力してほしい。	運営推進委員会や施設での取り組みを知る為に職員の参加を実地する。

F. 事業所の 防災・災害対策	地域の防災訓練に参加し、災害時に地域と協力できるよう訓練を行う。	防災訓練は実地している。合同での訓練は出来ていないが、災害時には地域と協力し合えるように、情報を共有している。 防災計画はマニュアル化されている。	事業所だけの災害対策ではなく、地域との関係を想定した計画を今後も検討していく。	地域の防災訓練に参加し、災害時に協力できる体制を検討する。
--------------------	----------------------------------	------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	-------------------------------